

10月12日 天下一新能

「千人殺し」背景に幽玄の世界へ

午後5時 30分から 延岡城址一の丸広場

秋の夜、「千人殺し」の石垣を背景に幽玄の世界へといきなう「第23回のべおか天下一新能(てんがいちたきぎのう)」が10月12日午後5時30分から、延岡市の延岡城址(し)一の丸広場で行われる。主催は、NPO法人のべおか天下一市民交流機構(松下宏理理事長)。

出演は観世流能楽師 年(第14回)以来2回 シテ方で同新能をプロデュースする片山九郎右衛門さん、大蔵流狂言師の茂山七五三(しめ)さん、同じく大蔵流狂言師の茂山逸平さんら。演目は2010



片山九郎右衛門さん



茂山七五三さん

の宮崎市を舞台とし、同新能では初上演となる能「景清(かげきよ)」。2度目の公演となる「海上」は今回、赤頭逸平さんの親子共演による狂言「魚説経(うおせつぎょう)」、現在

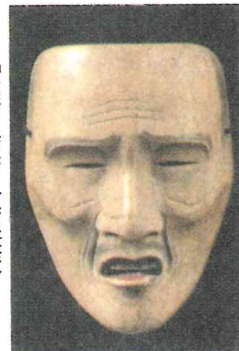
「海士」は母と息子、「景清」は父と娘の、く同市の子どもが務める。



「深井」(天下一若狭作)



「泥眼」(天下一是閑作)



「景清」(天下一若狭作)



「小面」(宗能花押作)

ともに親子の再会と情愛の物語。「魚説経」は魚の名前尽くしの言葉遊びをおもしろがる物語。また、同市の子どもたちによる仕舞「八浦(かっぱ)」「羽衣(はごろも)」、連吟「船弁慶(ふねべんげい)」も披露される。

雨天時は同市東浜砂町の延岡総合文化センターに会場を移す。日時に変更はない。

チケットは指定SS席1万円、指定S席8千円、自由A席5千円。延岡総合文化センター1、同市文化課(市役所南別館)などで扱っ

9月5日から能楽講座

「第23回のべおか天下一新能を見る前に、今回の演目について楽しく学ぶ能楽講座が9月5、12、26日、延岡市東本小路の市民協働まちづくりセンターで開かれる。全3回。いずれも参加無料。当日参加も受け付けます。気軽にご参加くださいと呼び掛けている。5日のテーマは「謡曲『海士』と藤原房前」。12日のテーマは「景清伝説と日向」。講師は宮崎公立大学教授の永松敦さん。同センター3階大会議室で午後7時から。26日は特別講座「能楽の舞台裏を見る」完全公開。能装束の着付け。講師は同新能に第1回から出演している観世流能楽師シテ方の橋本忠樹さん。同センター1階多目的フロアで午後1時から。問い合わせは、主催するNPO法人のべおか天下一市民交流機構(☎延岡33・0248)へ。

内藤家旧蔵の能面使用

のべおか天下一新能では毎回、同新能が始まるきっかけにもなった、延岡市に残る内藤

家旧蔵の能面が使用される。同市では現在、「天下一」の称号を持つ面打ち師が制作した能面など72面を所蔵している。

この中から今回は、能「海士」の海士(前シテ)役で「深井」、龍女(りゅうじよ)、後シテ)役で「泥眼(でいがん)」、能「景清」の景清(シテ)役で「景清」、人丸(ひとまる)、ツレ)役で「小面」が使用される予定という。